

# ワシントン大学短期留学プログラム 報告書

釧路校 教員養成課程 学校カリキュラム開発  
英語グループ 3年 長尾 和佳

## ●短期留学を経験して

留学を終えた今、一番に感じるのは「留学をしてよかったな」ということです。事前の準備が十分なものではなかったのですが、正直とても不安を感じていましたが、想像以上に充実した3週間を過ごすことができました。

英語の能力が「驚くほど成長した」というわけではありませんが、現地で授業を受けたり、ホストマザーと話をしたりする中で、自分が解決しなければならない課題が見つかりました。今後は、生じた課題を解決するために英語学習により一層積極的に取り組んでいこうと思います。

## ●大学での授業について

初日にテスト (Listening と Speaking) によりクラス分けが行われます。2日目以降は、分けられたクラスごとに授業が行われます。もちろん、授業は全て英語で行われますが、テストの結果によりクラス分けがなされているので、授業の内容や先生の言っていることがわからない、といった事態はありませんでした。授業中は、英語しか話してはいけないルールになっています。最初は戸惑いましたが、時間が経つにつれて、だんだん慣れていきました。

私のクラスは Speaking 重視のクラスだったので、とにかく話す活動が多くありました。映画 (Sleepless in Seattle) を見た後に、その場面にちなんだ質問をされ、自分の意見を述べなければなりません。これはとても難しく感じました。なぜなら、私はすぐに自分の意見が述べられないからです。日本語で質問されたとしても、答えられるかわからないような質問なのに、その場で意見を考え、自分が使える英語で答えなければならないというのは非常に困難なことでした。また、自分の国の文化を踏まえて考えを述べなければならない機会も多くありました。私のクラスには台湾の方、韓国の方、ロシアの方がいましたが、みな自分の国の文化について詳しく説明できていました。しかし、私はといえば、日本の文化について説明できるほどの知識を持っていなかったのも、とても悔しい思いをしました。英語でどのように表現したらよいのだろうと悩むのならまだしも、日本語でどのように表現したらいいのか分からないというのはすごく恥ずかしいことだなと思いました。

このような中でも、毎日少しずつ話せることが多くなったり、いろいろな表現が使えるようになってきたりと成長も感じられました。先生はとても優しく、間違った表現をしても正しい

表現を教えてくれるので、間違いを恐れずとにかく自分の言葉で話すことが大事なのだと実感しました。



《大学にあるジョージワシントンの像》

#### ●シアトルでの暮らしについて

シアトルの人はとても優しいです。街中で手持ちの地図を見ながら、行き先を探していると、「どこへ行きたいの？」と声をかけてくれました。また、家の近くですれ違った人も挨拶をしてくれました。コミュニケーションをすることへの抵抗が少ないのだと感じました。せっかくの機会なので、恥ずかしがらずに話すことが大切だと思います。

食べ物については、特に困りませんでした。ホストマザーのつくる料理はどれもおいしかったです。前にシアトルに行った方々から日本食（味噌汁やごはんなど）を持って行ったほうがいとアドバイスを頂いていましたが、私は荷物の関係で持っていきませんでした。大きいスーパーなどに行けば少し割高ですが日本食は売っていますし、大学周辺にも日本食を食べることのできるレストランはあるので特に問題はないと思います。

生活をしている中でわからないことが生じた場合には、なんでもホストファミリーに聞いたほうがいいです。わからないことを放置して不安な思いをするよりは、聞いたほうがすっきりするし、英語の練習になるのでとてもいい機会になると思います。私も、バスの乗り降りの仕方など何度も聞きました。



《ホストマザーが作ってくれたピザ》



《移動の際につかっていたバス》

### ●次回参加する人へのアドバイス

おそらく携帯電話を持っていくことになると思いますが、シアトルはFree Wi-Fiが多く、外でもインターネットにつながることができるため特に困ることはありません。ホストファミリーと連絡を取る際には、同じアプリをダウンロードして連絡を取る、というのが一番いい方法だと思います。しかし、ホストファミリーがスマートフォンなどを持っていないで、同じアプリをダウンロードできない場合は、現地でプリペイド式の携帯電話を買うことをお勧めします。実際私は、前述のような状況だったので、プリペイド式の携帯電話を購入しました（\$30もあれば連絡をするのに十分なものが買えます。）スーパーなどでも購入できるので、ホストファミリーに言えば連れて行ってってくれると思います。なかったらなくても大丈夫だとは思いますが、あればやはり安心ですし、手続きはすべて英語で行うので、英語の力を向上させるのにも役立ちます。

カナダへ行こうと考えている人がいれば、きちんとカナダドルを持っていくことをお勧めします。お土産を買う際や飲食をする際には、ほとんどクレジットカードやアメリカドルが使えるので問題ないのですが、公共交通機関を使用する際にはカナダドルしか使えません。ものを買う際にアメリカドルで支払って、カナダドルのお釣りをもらうという方法もありますが、面倒なので、やはりカナダドルを持っていくのが一番良い方法だと思います。

### ●最後に・・・

今回の短期留学でここには書ききれないほどの体験をすることができました。英語を学習するというだけでなく、異文化の中で暮らすことにより学ぶことも多くありました。これらの経験によって、ものの考え方や見方が変わりました。少しでもこのプログラムに興味を持っているのであれば、参加してほしいと思います。不安なことも多いかと思いますが、実際に行った人に話を聞くのが1番です。私も短期留学を経験したものとして、一生懸命サポートしていきたいと思います。